

つなげよう つながろう
ふたばのわ

▶ **HAPPY NEW SMILE!!** 笑顔がつなぐふたばのわ
2022スマイルフォト特別版(P2~3)

- ▶自治会活動レポート~双葉町埼玉自治会・双葉町県中地区自治会~(P4)
- ▶未来を照らすヒカリ~みらいへのヒカリプロジェクトイルミネーション2021点灯式~(P5)
- ▶新たな年に向けて~初發神社しめ縄づくり~・情報掲示板(P6) ▶中野地区復興産業拠点 立地企業の紹介(P7)
- ▶放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・今月のオフショット(P8)

表紙はみらいへのヒカリプロジェクトイルミネーション2021点灯式



■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>





ふたばのわ2022年新春号の特集は
各地の取材先等で見ていただいた素敵な笑顔をお届けるスマイルフォト特別版です。
一昨年から続く新型コロナウイルスの影響により、離れて暮らすご家族やご友人に会う機会が減ってしまったのではないのでしょうか。
こちらに掲載された沢山の笑顔が紙面をご覧になった多くの人の笑顔につながれば嬉しいです。



福地 俊夫さん 宮本 孝男さん
岡田 雄一さん



岩沢 初江さん 山本 春江さん



勝山 京子さん 杉田 オサイさん



田代 清子さん 田代 重夫さん



山根 辰洋さん 山根 寧月ちゃん
山根 さよりちゃん 山根 光保子さん



草野 環さん 田中 一見さん



石橋 涼香さん 澤上 美羽さん



中島 恒徳さん 中島 和枝さん



天野 正衛さん 釘野 紀美枝さん
松木 あい子さん



中野 優子さん 綿引 みさ子さん



鈴木 光子さん 吉田 サダ子さん
大内 ちづ子さん 土田 郁子さん



谷津田 淳之さん 里見 淳さん



朝田 由美子さん 石井 満征さん
谷津田 敬子さん 上野 節子さん



岩本 幸矢さん 大和田 佳希さん
松木 怜太さん



一條 貢さん 一條 滋子さん



岩元 厚子さん 岩元 善一さん



白土 庄榮さん 白土 則子さん



箭内 充さん 石川 京子さん 栗田 和子さん
野村 好彦さん 石川 榮次さん 今泉 春雄さん



岩本 清孝さん 岩本 和子さん



新家 由子さん 中川 圭子さん
菅本 章二さん



村井 光子さん 村井 佳人さん



鈴木 政雄さん 鈴木 ユキ子さん
高田 さよ子さん



佐々木 清一さん 館下 明夫さん



伊澤 慶昭さん 伊藤 雅明さん

番外編 **スマイルフォト** IN タブレット交流会

勿来酒井団地
いわき市

八山田団地
郡山市



せんだん広場
郡山市



スマイルフォト特別版へのご協力ありがとうございました。紙面の都合上掲載できなかった写真も含め、撮影した全てのスマイルフォトは動画版でご覧いただけます。パソコンやスマートフォンでご覧になる方は双葉町公式YouTubeチャンネルで、タブレット端末でご覧になる方はふたばアプリトップ画面のふたばチャンネルでご視聴いただけます。



一自治会 活動レポート



双葉町産業交流センター
Fuzuhara Business Incubation and Community Center



双葉町埼玉 自治会



11月29日・30日、双葉町埼玉自治会の皆さんが双葉町や浪江町、相馬市をめぐる研修旅行を行い、28人が参加しました。

自治会の恒例行事となっていた研修旅行。昨年度は新型コロナウイルスの影響のため規模を縮小し、日帰り旅行となりましたが、今年度は対策を十分に行ったうえで例年どおり1泊2日の日程で開催が実現しました。

取材にうかがった初日、皆さんは双葉町産業交流センターで昼食をとり、その後大型バスに乗って中間貯蔵施設等の帰還困難区域内を視察しました。またJR双葉駅周辺ではバスから降り、整備が進むJR双葉駅西側地区や双葉駅東側の役場仮設庁舎建設予定地などを見て回りました。

参加した方は「自分が知っている風景とはだいぶ変わってしまっただも双葉町に来るとやはり懐かしさを感じる。久しぶりに自治会の活動に参加して、皆さんの元気な顔を見られて良かった」と話していました。

双葉町県中地区 自治会



12月4日、郡山市の福島県農業総合センターで双葉町県中地区自治会定例会・クリスマス会が開催され、61人の会員が集まりました。

この日は会場入り口で検温やアルコール消毒を行うなど感染症対策をしながら、会食を中心とした交流が行われました。

コロナ禍で活動の自粛が続いていたため、参加した方は「久々に会う人が多い、喋らなくても顔を見ただけで嬉しい」と再会を喜んでいました。他にも「またみんなで集まれるようになった」「マスクなしでまた会食がしたい」など以前のよくな活動を望む多くの声がかれました。時間を短縮して行われたため、短い時間ではありましたが約1年半ぶりに皆さんが集まって、楽しそうに笑顔で話す姿が印象的でした。



未来を照らすヒカリ

—みらいへのヒカリプロジェクト
イルミネーション 2021 点灯式—

12月10日、JR双葉駅東口広場でみらいへのヒカリプロジェクトイルミネーション2021点灯式が行われました。これは「震災前に双葉駅前で行われていたイルミネーションを復活させ、多くの人に見に来てもらいたい」と、一般社団法人ふたばプロジェクトの皆さんによって企画されたものです。点灯式では多くの人が見守る中、関係者によって点灯スイッチが押され、駅前の通路や階段に飾られたLED電球が一斉に点灯しました。駅前広場の階段には各地の避難先や町立幼、小、中学校で制作されたペーパーランタンが並べられ優しい光で辺りを照らしました。イルミネーションはJR双葉駅東口広場と双葉町産業交流センター周辺で来年1月31日までの間、毎日16時～22時まで点灯しています。皆さんぜひ足を運んでみてください。



願いが込められたペーパーランタン



多くの人が双葉駅前に集まりました



当日駆けつけて飾り付けをしてくださった婦人会の皆さん



震災前もイルミネーションを見ていたから懐かしく感じた。これからもふるさつを見守っていきたいと思う。



(イルミネーションが)最初に光った時がキレイだった! 姉妹で一緒に、光る階段に登って楽しかった!

関係者が点灯スイッチを ON!



ふたば。みらいへのヒカリプロジェクト
イルミネーション点灯式 2021.12.10
双葉駅前広場



新たな年に 向けて

初發神社 しめ縄づくり

令和3年12月18日、19日の2日間、双葉町内で初發神社に奉納するしめ縄づくりが行われました。初發神社のしめ縄づくりは震災前から行われており、震災後の2016年に再開してからも毎年一本ずつ制作し、欠かさず奉納されてきました。しかし令和2年の年末は新型コロナウイルスの影響でしめ縄づくりが中止。そのため、毎年1本ずつ制作し交換していた社殿と鳥居のしめ縄を今年は同時に2本制作しました。

当日は、氏子と初發神社に關わる行政区の区長など合わせて10人が集まり、事前に準備していた藁を機械に通して柔らかくする作業から始まり、その後しめ縄1本につき12本必要

になるという芯の部分、「しも」を作って束ね、中央から両端にかけて藁を追加しながらねじっていく大事な作業へ。「もっと太く作らないと見栄えしないから、藁を追加してよ」「作っているうちに上手くなったんじゃないか？」など、町民同士で協力しながら和気あいあいとした雰囲気が進み、1日目には立派なしめ縄の1本目を完成させることができました。

氏子総代の横山久勝さんは、「今回のしめ縄づくりは私が氏子総代長になってから初めての制作だったので、果たして上手くいくのかな、大丈夫かなという不安がありました。しかししめ縄づくりは双葉町の大事な伝統文化であり、残していかなければならないものです。後継者問題など色々な課題はありますが、伝統を途絶えさせないよう皆で頑張っていきたいですね」と話していました。

完成した2本のしめ縄は12月19日に奉納されました。初發神社に初詣に訪れた際はぜひご覧ください。



情報掲示板

自治会イベント

※今後の状況によってはイベントが延期・または中止となる場合がございます。

双萩会(仙台市)

県北ふたば会(福島市)

1月上旬 ▶ 新年会

1/28(金) ▶ タブレット講習

自治会、町民グループさまの交流会、イベント情報などございましたら、この掲示板をご活用ください。掲載ご希望の場合は、双葉町復興支援員(ふたさぼ)までお知らせください。

※12月14日時点の情報です。

今月の紹介企業①

株式会社伊藤工務店

株式会社伊藤工務店は、創業以来ずっと双葉町に根差した仕事を行っており、建築・土木・施工などの総合建設業を通じて「豊かで安心、快適なまちづくり」を支援しています。特に東日本大震災以降「故郷の活気を少しでも取り戻したい」という思いのもと、双葉郡内の道路工事や民間工場の整備工事を行ってまいりました。

令和2年、中野地区復興産業拠点内に本社機能を移転・再開し、現在も双葉町の発展のため尽力しております。なお一層、信用・信頼・安全・安心を優先する安全衛生基本方針のもと、安全な職場環境を構築し、さらに建設工事現場におけるゼロ災害を推進してまいります。



代表取締役 伊藤 和之さんの声



震災があったあの日、私は避難指示を受け、バスで県外に避難しました。しかし、その時から一切の迷いなく双葉町に戻ることを考えていました。なぜなら、父の代からお世話になってきたこの町で、自分がやれることをやらなければという使命感があったからです。今こうしてこの町に戻ってくることができ、町に少しでも貢献していこうという強い思いを持って仕事をしております。

私が考える復興とは、何よりも町に人が来ることです。特に、長期的な町の復興という面においては、若い人たちが町に来てくれることが重要だと考えています。そのためには、新しい人や、新しい考え方を積極的に受け入れ、若い人たちが中心となって復興に向けた取り組みを進めていくことが重要だと思っています。我々も一組織としてそのような仕組みを整え、復興の一翼を担うことができるよう尽力してまいります。

今月の紹介企業②

勝山工業株式会社

勝山工業株式会社は、昭和61年に創業した地元企業で、震災前から双葉町に本社を置いています。建設工事事業を行っており、双葉町の除染解体作業、中間貯蔵施設での運搬作業を中心に展開しています。震災直後においては、双葉町における家屋の保守を行うなど、町の復旧・復興に向け取り組んでまいりました。

令和2年には中野地区復興産業拠点内に事務所を開所し、町での操業を再開しました。現在も双葉町の地域発展のため尽力しております。



代表取締役 勝山 広幸さんの声



私にとって復興とは、双葉町全域の除染が終わり、住民全員がいつでも双葉町に戻り生活できる環境になることだと考えています。震災以降、建設工事を通じて双葉町を支えてきましたが、正直まだまだ復興に終わりは見えていない状況だと感じています。来年の特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除後、1000人くらいの住民が戻ってきてくれたら、復興が目に見える形になってきたと言えるのではないのでしょうか。特に、子どもたちが町に戻って来てくれることが一番うれしいことですし、彼らのためにも魅力のある町を作りたいです。

また、長期的な復興のためには、双葉町のことを知ってもらうことが重要だと思います。震災や原子力災害の被害を強く受けた双葉町は、世界でも類を見ない町だと言えます。原発事故をプラスの方向に生かし、世界中の人々が来てくれるような仕組みを構築していくことで、町として長期的な発展に繋がるのではないのでしょうか。双葉町には様々な課題が山積していますが、町が復興・発展していくための取り組みに対して協力していきたいと考えております。

※撮影時のみマスクを外していただいております。

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

令和3年12月17日

- ①郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.11~0.23
- ②福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.12
- ③郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.09
- ④白河市 県白河合同庁舎 …… 0.07
- ⑤会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.06
- ⑥南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.06
- ⑦南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.08
- ⑧いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.07



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

原子力規制委員会ホームページより

地区	地点	平成24年 4月1日	令和3年 12月17日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.36
新山	新山公民館	—	0.15
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.17
新山	双葉南小学校	—	0.16
新山	双葉中学校	—	0.16
新山	県立双葉高等学校	—	0.18
新山	中央公園	—	0.19
下条	双葉総合公園	2.60	0.51
下条	双葉町役場	—	0.17
郡山	郡山公民館	1.48	0.30
細谷	細谷公民館	—	0.28
三字	三字公民館	2.53	0.13
山田	山田農村広場	24.47	2.81
石熊	石熊公民館	12.10	1.39
長塚	双葉町体育館	6.25	0.43
長塚	長塚二公民館	3.26	0.19

地区	地点	平成24年 4月1日	令和3年 12月17日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.14
長塚	町西住宅	—	0.15
長塚	JA ふたば北部営農センター	—	0.96
長塚	双葉北小学校	—	0.31
長塚	ふたば幼稚園	—	0.96
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.26
長塚	双葉町児童館	—	0.18
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.30
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	調整中
寺松	寺松公民館	3.46	0.70
渋川	渋川公民館	1.48	0.31
鴻草	北部コミュニティセンター	4.30	0.49
両竹	両竹公民館	0.54	調整中
浜野	双葉町産業交流センター	—	0.04

全国及び福島県の空間線量測定結果については
原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。
<https://www.irms.nsr.go.jp/nra-ramis-webg/>

ふたさぽミニコラム

明けましておめでとうございます。

旧年中は双葉町復興支援員の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございました。今年は寅年ということで、私たち支援員一同これまで以上に新たなことに“トラ”イしていけるよう活動に励んでいきたいと思ひます。

新型コロナの流行もようやく落ち着きの兆しがみられ、各地の皆さんと元気な姿でお会いできることを楽しみにしております。本年も何卒よろしくお願ひいたします。

木幡友紀恵、宮本真澄、平澤麻美、
森文香、前林菜美

今月のオフショット

遠くから駆けつけました!



12月10日

みらいへのヒカリプロジェクト イルミネーション2021点灯式で
イルミネーションの飾り付けや
ガラム折り紙のワークショップを開催していただきました。
関西大学学生の皆さんです。